



JA紀南 気象データ

令和7年 みかん栽培暦

J A 紀 南
西牟婁振興局農業水産振興課監修
令和6年11月作成

★土壌診断を行い、適正施肥に努めよう！

農業中毒の相談は日本中毒情報センター(大阪)TEL072-727-2499(24時間対応)

肥 培 管 理	月	防 除				重 点 作 業													
		病害虫名	薬 剤 名	倍数	使用基準 収穫前日数 使用回数														
土づくり (1月~3月) 基準設計 <table border="1"> <tr><td>バーク堆肥</td><td>2~4 t</td></tr> <tr><td>苦土石灰</td><td>100kg</td></tr> <tr><td>BMようりん</td><td>60kg</td></tr> <tr><td>F T E</td><td>6kg</td></tr> </table> 有機質：プロ有機 100袋 ハイフミン特号A 200kg 腐植：アツミン 140kg リン酸：リンスター 60kg 石 灰：セルカ120kg、又は苦土セルカ2号120kg 施肥基準 (樹勢・着果量により加減する) <table border="1"> <tr><td>極 早 生</td><td>早 生 温 州</td><td>木 熟 み かん</td></tr> </table> 春肥(3月上旬) 完熟みかん配合 80kg 又は 粒状柑橘配合 60kg 夏 肥 <5月下旬> 千代田化成549 40kg 秋肥(2回に分けて施肥) <9月下旬~10月上旬> <10月下旬> <10月上旬~10月中旬> <11月上旬> 完熟みかん配合 240kg (アツミン60kgと併用) 又は 粒状柑橘配合 200kg (アツミン60kgと併用) 完熟みかん配合 240kg (アツミン60kgと併用) マルチ層で施肥が離れた場合 マルチ除去後、千代田化成549 80kgを施用する 収穫後 樹勢回復対策 葉面散布(尿素又は、あざやか500倍)7~10日間隔で3回以上 3 月 6 月 6月~7月 絆ベレット 40kg 絆ベレット 60kg ミカンハモグリガ・アブラムシ類 モスピラン顆粒(溶) 4000倍(収穫14日前まで3回以内) アザハ類 フェニックスフロアブル 4000倍(収穫前日まで2回以内) 9 月 10月下旬~11月上旬 絆ベレット 40kg 絆ベレット 40kg 苗木 アゲハ類、アブラムシ類、ゴマダラカミキリ成虫、ミカンハモグリガ エクシレルSE100倍(育苗期3回以内) 完熟みかん配合(6-7-4) 有機率 87.5% 粒状柑橘配合(8-6-4) 有機率 59.0% 千代田化成549 (15-14-9) ※リン酸過剰園では 絆ベレット(8-3-4)有機率 63.0% こだわりオール有機(7-2-4)有機率100.0%	バーク堆肥	2~4 t	苦土石灰	100kg	BMようりん	60kg	F T E	6kg	極 早 生	早 生 温 州	木 熟 み かん	3	上	かしよう病 ミカンハダニ	ICボルドー66D アタックオイル	60倍 80倍	— 3月	— —	1 密植園の間伐 園地改造 ①園内運搬道づくり ②高畝化、溝掘り
	バーク堆肥	2~4 t																	
	苦土石灰	100kg																	
	BMようりん	60kg																	
	F T E	6kg																	
	極 早 生	早 生 温 州	木 熟 み かん																
	4	上中	そうか病	デランフロアブル (マシン油との近接散布に注意)	1000倍	30日前まで	3回以内	2 春草除草で開花促進 春肥吸収促進											
	5	上	(満開~落弁期) 黒点病 灰色かび病 そうか病 コアハムグリ・ケキス類	エムダイファー(水) ナティーボフロアブル モスピラン顆粒(溶)	600倍 2000倍 2000倍	60日前まで 前日まで 14日前まで	2回以内 3回以内 3回以内	3 ミツバチに影響する薬剤の使用は ひかえる 梅雨の黒点病防除時はアピオン-E 1000倍を加用 (但し、マシン油乳剤使用時には混用しない)											
		中下	カイガラムシ類 ヤノカイガラムシ類	トランスフォームフロアブル 又は モベントフロアブル (ヤノカイガラムシ多発園)	2000倍 2000倍	前日まで 7日前まで	3回以内 3回以内	4 品種更新(高接更新、若返り改植)											
	6	上	黒点病 ミカンハダニ ゴマダラカミキリ成虫	エムダイファー(水) アタックオイル グレースフロアブル 又は アクタラ顆粒(溶)	600倍 200倍 4000倍 4000倍	60日前まで 4~10月 7日前まで 14日前まで	2回以内 — 2回以内 3回以内	5 全摘果(満開10~20日後) フィガロン乳剤1000倍 1回のみ 摘果したい部分に散布											
		中下	黒点病 ミカンサビダニ アザミウマ類 (ゴマダラカミキリ多発園)	ベンコゼブ(水) アグリメック アクセルキングフロアブル (目に刺激あり、注意)	600倍 2000倍 2000倍	30日前まで 7日前まで 7日前まで	4回以内 3回以内 2回以内	6 ナメクシ対策 スラグ1~5g/m ² 発生時 又はマイキラ 200倍 30日前まで/3回 間引き摘果(満開20~40日後) ターム水溶剤1000倍 1回のみ フィガロン乳剤による間引き摘果及び熟期促進 1回目:フィガロン乳剤2000倍 300g/10a 満開 20~50日後 2回目:フィガロン乳剤3000倍 300g/10a 満開 70~80日後 但し、収穫14日前まで2回散布 (使用回数はのべ4回以内)											
	7	上	黒点病 ゴマダラカミキリ成虫 アザミウマ類	ベンコゼブ(水) アドマイヤーフロアブル	600倍 3000倍	30日前まで 14日前まで	4回以内 3回以内	7 極早生 粗摘果:6/中~6/下まで 仕上げ摘果:7/中~8/上まで 樹上選別摘果:9/上~9/中まで 早生・木熟みかん 上部全摘果:6~7/上まで 樹上選別摘果:9/下~10/上まで											
中		黒点病 アザミウマ類	ベンコゼブ(水) コテツフロアブル	600倍 4000倍	30日前まで 前日まで	4回以内 2回以内	7 透湿性マルチ被覆 極早生 6/下~7/中 早生 7/上~8/上 周辺の状況に応じて排水対策を行う												
8	中	ミカンハダニ ミカンサビダニ	タニゲッターフロアブル	2000倍	前日まで	1回	8 灌水(7/下~8/下) 干ばつ時は10~20mm程度の灌水												
	下	黒点病 カメムシ類 青かび病・緑かび病 (極早生・早生の早出し用)	ナティーボフロアブル スタークル顆粒(溶) トップジンM(水) 又は ベンレート(水)	1500倍 2000倍 2000倍 4000倍	前日まで 前日まで 前日まで 前日まで	3回以内 3回以内 5回以内 4回以内	9 浮皮対策1 生理落果終了から着色期までに セルバイン300倍を20~30日間隔 で2~3回散布												
9	上	黒点病 カメムシ類	ベンコゼブ(水) コテツフロアブル	600倍 4000倍	30日前まで 前日まで	4回以内 2回以内	9 褐色腐敗病対策(強風雨前) ランマンフロアブル2000倍前日まで 3回以内又はレーバフロアブル2000倍 前日まで3回以内												
	中	ミカンハダニ	タニゲッターフロアブル	2000倍	前日まで	1回	10 浮皮対策2 フィガロン乳剤3000倍を 1回目:産尻期 2回目:産尻期の2週間後 但し、収穫7日前までに2回散布 (使用回数はのべ4回以内) 又は クレント100倍を着色期から 収穫直前まで散布(2回以内) (出荷用途により、果実によれを生じるので留意する)												
10	上	青かび病・緑かび病	トップジンM(水) 又は ベンレート(水)	2000倍 4000倍	前日まで 前日まで	5回以内 4回以内	10												
	中	ミカンハダニ	タニゲッターフロアブル	2000倍	前日まで	1回													
11	上	青かび病・緑かび病	トップジンM(水) 又は ベンレート(水)	2000倍 4000倍	前日まで 前日まで	5回以内 4回以内													
	中	ヤノカイガラムシ ハダニ類 (越冬卵)	機械油乳剤95	45倍	冬期	—													
12	上	ヤノカイガラムシ ハダニ類 (越冬卵)	機械油乳剤95	45倍	冬期	—													

●トップジンM水和剤又は、ベンレート水和剤を使用する場合は、どちらかの剤に限る

カメムシ捕虫灯を設置しよう!

- 防除の注意点**
- 隣接園、早期収穫品種への飛散に注意。
 - ドリフト対策として、防風垣・防風ネットの整備を行う。
 - 防除器具の洗浄を行う。
 - 生産履歴の記帳は収穫後より始まります。
 - 本暦は紀南地域の基本的な栽培暦です。栽培管理は気象条件や生育状況により調整してください。
 - 本防除記載の農業の登録内容は令和6年10月末日現在です。

雑草防除

薬 剤 名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量 (散布水量)	使用回数
タッチダウンiQ	1年生雑草	収穫5日前まで	250~500ml (10~100ℓ)	3回以内
	多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (10~100ℓ)	
ラウンドアップマックスロード	1年生雑草	収穫7日前まで	200~1000ml (50~100ℓ)	5回以内
	多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (50~100ℓ)	
バスタ液剤	1年生雑草	収穫21日前まで	300~500ml (100~150ℓ)	3回以内
	多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (100~150ℓ)	
ザクサ液剤	1年生雑草	収穫21日前まで	300~500ml (100~150ℓ)	3回以内
	多年生雑草	雑草生育期	500~1000ml (100~150ℓ)	

●タッチダウンiQ、ラウンドアップマックスロードの使用回数は両剤を合わせて5回以内。
●バスタ液剤、ザクサ液剤の使用回数は両剤を合わせて3回以内。

★マルチ被覆を面積の50%以上にしよう!

★腐敗対策を徹底しよう!